

大正美術の共演

聖徳太子ゆかりの宝物と

中期展示

令和8年(2026)11月26日(木)～12月20日(日)

明治時代に皇室へ献上され、現在は東京国立博物館が所蔵する
法隆寺献納宝物から多数の国宝・重要文化財が展観されます。
さらに、大正時代のモダニズムと古典回帰が融合された、
彩り豊かな近代美術の名作、大作も皆さまの眼を楽しませてくれることでしょう。

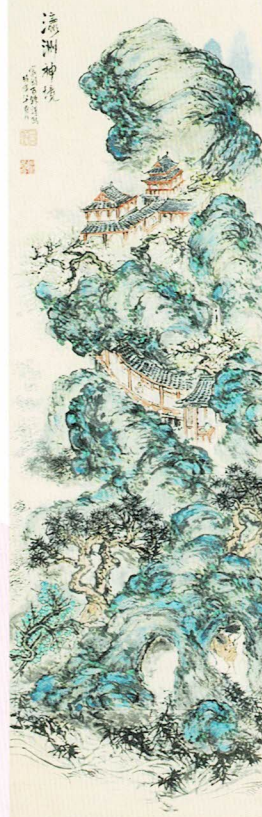


法隆寺に伝来した
龍とペガサスの水瓶

瓢形丁子風炉
江戸時代(18世紀)
皇居三の丸尚蔵館収蔵



楼船管絃時絵香箱
室町時代(16世紀)
皇居三の丸尚蔵館収蔵



富岡鉄斎
武陵桃源・瀛洲神境
大正12年(1923)
皇居三の丸尚蔵館収蔵

巨匠・富岡鉄斎が描いた
ユートピアの風景

重要文化財
摩耶夫人および天人像
飛鳥時代(7世紀)
東京国立博物館蔵
Image: TNM Image Archives



屏風が語る
世界の姿

重要文化財 万国絵図屏風(左隻)
江戸時代(17世紀) 皇居三の丸尚蔵館収蔵

